

同志社女子大学

生活科学会通信

No. 61

2020年6月

同志社女子大学
生活科学会

コロナ禍に思う

西村 公雄 (生活科学会長)

このいやはての集いの場所に
われら ともどもに手さぐりつ
言葉もなくて

この潮満つる渚につどう・・・

かくて世の終わりに来たりぬ

かくて世の終わりに来たりぬ

地軸くずれるとどろきもなく

ただひそやかに

T・S・エリオット

コロナ禍で、兵庫県住まいの私は、ただ今(4月27日現在)、緊急事態宣言の下、慣れない在宅勤務を余儀なくされていきます。何もかもが初体験で、ネット環境が脆弱な我が家での仕事の効率の悪さに心底辟易している状況です。疲れた頭を癒やそうと、ふと窓辺から屋外に視線を向けると、自宅前を走る阪神電車内に・・・人影はまばらです。テレビは人々が途絶えた街の様子が映しだし、言い知れぬ不安感と寂しさが交錯します。「この風景は、どこかで思い描いた情景？」ふと、中学生の時に読んだネビル・シュート著の『渚にて』が、脳裏をかすめます。東西冷戦まっただ中の時代に、ついに第三次世界大戦が勃発し、核爆弾による高放射能により北半球は壊滅。人々は死に絶えます。放射能は徐々に南下し、やがて南半球の人類の滅亡も避けられなくなり拒絶。彼らは、南へ逃げて延命することを拒絶。服薬による自宅での安楽死

を望み、しばらくの間、今まで通りの生活を続け、残された人生を楽しむのです。じりじりと大気中の放射線量が上昇し、被曝した人達から服薬が始まり、徐々に街はさびれていく。そう言うストーリーでした。この小説を読んだ中学生は、なんと切なく恐ろしい風景だろうかと戦慄を覚えるとともに、内容を如実に表した冒頭の詩が脳裏に焼き付くことになりました。

今、五十年前に思い描いた風景が私の目の前に広がりとつあります。ただ、幸いなのは、この災いには、終わりが予測されることです。でも、終息には、ワクチンまたは特効薬が開発されるまでの長期間を要することでしょう。この長期戦を生き抜くために、我々は、家に閉じこもるような行動変容を余儀なくされています。そしてそれが大きなストレスとして家庭にのしかかり、ともすれば心荒みがちになります。今こそ、「家庭生活を中心とした人間生活における人間と環境の相互作用について、人的・物的両面から、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学」(日本家政学会リーフレット)を謳う生活科学の力量が問われる時ではないでしょうか。行動変容を強いられることで、様々な問題が噴出してここの苦難の時に、実践的総合科学に集う我々が、使命感をもって有効な情報を発信して行かなければならぬ。そう思うのです。

生活科学部短信

①人間生活学科の村瀬学先生(児童文化)、食物栄養学科の仲佐輝子先生(栄養化学)、伊藤節子先生(臨床栄養学)が2020年3月をもって退職されました。3人の先生は長年に渡り本学の教育・研究両面において

多大な貢献をされました。今後のご活躍をお祈りいたします。

②4月より人間生活学科に塚田由佳里先生(住居計画)、食物栄養学科に田中雅彰先生(臨床病態学)、鈴木拓史先生(栄養化学)の3人が新たに本学部に着任されました。

③第34回管理栄養士国家試験の全国の平均合格率61.9%、全国管理栄養士養成施設(新卒)の平均合格率92.4%に対し、本学管理栄養士専攻新卒の合格率は98.9%(93名受験中92名合格)でした。

お知らせ

食物栄養学科の西村公雄教授が2020年5月に2020年度日本家政学会賞を受賞されました。これは、家政学の進歩発展に顕著な功績のあった会員に対し日本家政学会が表彰するものです。なお、本学会員が日本家政学会から受賞されるのは、2003年に真部真里子教授(当時准教授)が奨励賞を受賞されて以来のこととなります。

御退職の先生からのメッセージ

退職にあたって

仲佐 輝子

私は生活科学部の前身である家政学部が学芸学部から独立した翌年の一九六八年に食物学科に入学しました。卒業論文では栄養化学研究室に所属し、沖中靖先生の下、実験することの楽しさ、研究に対する姿勢を学びました。卒業後は助手、大学院生、非常勤講師をしながら研究生として研究を続け、一九八四年に専任講師として迎えて頂きました。家庭科の教員免許と栄養士免許を持っていること、高校での教育経験などを

評価されてのお話で、当時学部長をされていた安藤先生からは、教職担当の片山先生のお言葉も交えて「教職科目を担当することは、二足の草鞋を履くことになり、専門の研究との両立は大変だが、教科教育を片手間でやらないで欲しい」という内容のお手紙を頂きました。それから、自分の研究のための実験を続けながら、卒業指導も家庭科教科教育法や教育実習などの教職課程の指導も手を抜くことなく取り組みまし

た。二〇〇二年度から三年間学部長を務めた時は、栄養士法が改正・施行された時期で、設置が義務付けられた施設・設備の整備と老朽化した建物のインフラ整備は、二〇〇三年のほぼ一年間をかけて行われました。また、カリキュラムの大幅な改正も行われ、それに対応するべく皆で知恵を出し合い、乗り越えたことを思い出します。この改正で、私自身の担当科目が教職科目から管理栄養士専攻の講義科目に変更されるこ

聞いていた行進曲が彼の作曲だなんてびっくりでした。YouTubeで何度何度も聞き直しています。そして軍歌に見せかけて作られた反戦歌『暁に祈る』。「災難」の中でも、密かに歌で「エール」を送り続けた人がいるんですね。ほくも「エール」といきませんが、今年の正月にHPを開きました。「村瀬学の小径」でスマホからも見られます。みなさんの健闘に少しの共闘ができる徑を探りたいと思っています。

退職にあたって

伊藤 節子

新緑の季節になり、GW明けに久しぶりに今出川キャンパスを訪れました。学生さんの姿が見られないキャンパスに寂しさを感じましたが、自然の営みは損なわれていないことに救いを感じ、必ずまたキャンパスに希望の春が来ることを確信しました。京都にあげられて京都大学に入学、小児科医として二五年間、臨床と免疫・アレルギー疾患の研究を行ってきました。医仁会武田総合病院小児科部長時代に素晴らしい管理栄養

士さんに出会い、このような素晴らしい管理栄養士を育てたい、また将来、母親になる女性に乳幼児期の食生活こそ将来の生活習慣病の予防の鍵を握っていることを学んでいたきたいと考え、二〇〇年前の春、同志社女子大学の一員に加えていただきました。研究としては食品の調理による低アレルギー化に取り組み、歴代の助手さんやゼミ生の助けを得て、臨床に役立つデータを出すことができ、「食べることを目指した

近況についてご報告します。四月一日、学校法人大和学園地域健康栄養支援センター長に着任しました。管理栄養士の社会における認知度をあげ社会貢献できる場にしたと考えています。臨床病態学の授業を担当しますが、新型コロナウイルス感

個人的には小学校一年生になった孫娘一家が京都に二世帯住宅を建てましたのでぎやかに暮らしています。孫の小学校もWebで授業が行われており、一緒に見て楽しんでいきます。

エールを

村瀬 学

阪神・淡路大震災（一九九五）の四月に赴任し、新型コロナウイルス感染症拡大時に退職となりました。震災から感懐へ。この在職二五年の感慨を述べるよりも、今ゼミ生さんがいたらどんな声かけができるだろうと不安が先立ちます。親の仕送りの負担を無くすバイト、ライブハウスの楽しみ、海外旅行の計画、クラブでの活躍、彼氏との熱いおつきあい・それらのすべてが禁止！嘘でしょう。今までの「大学生活」では

考えられない情景。もちろんすでに仕事をしている人、子育てに奮闘している人も、未曾有の「自粛」の生活です。でも、こんな時にこそ、「災難」を乗り越えてきた人々の「物語」から「知恵」を得たいものです。ノーベル賞作家カミュの『ペスト』は、アルジェリアのオランという町がバスト感染で封鎖され、その中で人々が苦悩し絶望しながら戦う物語でした。終盤、医師リユーにタルーというよそ者が「誰でもめい

めい自分のうちにバストを持っていくんだ」と言い放ちます。「災難」はよそからくるものですが、自分の中からもやってくるという認識。ほくは昨年初めて朝ドラ『なつぞら』を見ました。ジブリ誕生の物語だったから。その延長で、信楽焼の「スカレット」も見て（これもよかったです）、いま古閑裕而が主人公の「エール」を見ています。主人公が「どもり」という設定も新鮮でしたが、小学校の運動会からずっと

食事指導に生かしてきました。各地での講演後「同女出身です」と声をかけられることが多く、同女の底力を感じることは大変嬉しいことでした。

生活科学会 大会報告

第五十三回同志社女子大学生活科学会大会が二〇一九年七月三日(水)午後三時から楽真館四〇一教室で諸井克英先生を会長として開催されました。

総会では、二〇一八年度事業報告および決算報告、二〇一九年度事業計画および予算についての審議が行われました。

続いて、本学現代社会学部社会システム学科教授 天野太郎氏による「学生を媒介したフィールド・ワークの実践と地域連携型教育の意義―富良野地域および東日本震災地域での事例―」という演題で講演会を開催しました。

地域連携型教育では学生が主体となって活動していくことが大事であり、高校生や大学生のしなやかな視点がこれからのまちづくりを生かしていけるのではないかと話されました。



見学会報告「和菓子作り体験」

実は今回、見学会が開催される「俵屋吉富」さんの京菓子資料館には一度行きたいと思っていました。ちょうどそのような折にこの同窓会の便りを受け取りましたので、今回参加を申し込みました。

当日の見学会の流れは、「体験↓見学↓喫茶」でした。

まず、「体験」です。職人の方の技を目の前で見、その後、吉富さんの材料で自ら和菓子を作るといふ、なんとも贅沢な和菓子作り体験です。私は一人で参加しましたが、普段であれば話す機会のない方々とも、同じものを作ることを通じて同じ時間を共有することができ、大満足の三品が出来上がりました。

次に「見学」です。学芸員の方の解説付きで京菓子資料館の見学です。これが本当に分かりやすく、お菓子の歴史やお菓子の種類について講義して頂きました。一人で解説を読むだけでは得られない知識です。

最後はやはり女子!「喫茶」です。吉富さんの和菓子とお抹茶をいただき、心豊かな一日を過ごすことができました。

一流の方々に教えて頂く体験型見学会は大変貴重な内容でした。

今回の見学会では通常の観光では得られない貴重な経験をさせていただき、さらに同志社女子大学の幅広い年代の方々と親しく交流することができました。今後とも機会があればぜひ参加したいと思っております。

(二〇二〇三年度SK卒)

研究会報告「テーブルマナーを学ぶ」

十一月の下旬に京都ブライトンホテルでコース料理をいただきながら、西洋料理のテーブルマナーを学びました。食事のマナーに関しては、新入生オリエンテーションで会席料理のマナーを学ぶ機会がありました。西洋料理のマナーについて教わるのは初めてだったので、少し緊張しながらも研究会に参加する事を楽しみにしておりました。

当日は在学生だけでなく、先生方や卒業生の方もご参加なさり、初対面の方々と円卓を囲んで食事を共にするのは、豪華な内装も相まって、特別な時間となりました。また、ホテルスタッフの方がマナーだけでなく料理の知識も交えながら説明してくださり、どのテーブルからも感嘆の声が上がっていました。初めて目にする名前のソースや料理も説明を受けることで、より一層美味しく感じました。

(S3年次生)



奨学金のお知らせ

生活科学会では、本学生活科学部に所属する学生・院生に奨学金を支給しています。募集は9月に行います。詳細は同志社女子大学ホームページにてご確認ください。

生活科学部の新しいスタッフの紹介

住居計画研究室
塚田 由佳里

二〇二〇年四月より人間生活学科に着任いたしました塚田由佳里と申します。大阪で学生時代を過ごし、大学・大学院で生活科学（居住環境学）を学んだ後、故郷の富山県で家庭科教員として働きながら博士論文をまとめました。その後、念願でしたフィンランドの大学で二年間の研究生活を送り、帰国後、仙台の高等専門学校

で建築設計教育に携わりました。専門は住居計画で、人の生活総体を捉えてこれからの住まいや暮らしに不可欠な地域施設・空間を考える分野です。空間を考えるヒントは現場にあるのでフィールドワークを重視しています。人の行動と空間の関係を観察したり、居住者・利用者の声に耳を傾けることで、人が空間をどのように使

い、どのような空間を心地よいと感じるのか、人は何を求めているのかを読み解き、生活空間の設計・デザインに役立てます。近年取り組んでいる研究テーマは、児童館・学童保育所の質、冒険遊び場や公園保育所の可能性、共働き家族の住まいや単身・夫婦のみといった小規模世帯の住まいなどで

住まいを考えることは生き方を考えることであり、研究を通して多様な暮らしに出会い、暮らしの知恵を学べるのがこの分野の醍醐味です。美しい景観と伝統文化が息づく国際都市京都の暮らしを楽しみながらみなさまと一緒に学んでいきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願

栄養化学研究室
鈴木 拓史

二〇二〇年四月より生活科学部食物栄養学科の准教授として着任いたしました鈴木拓史（すずきたくし）と申します。誌面からのご挨拶となりますが、生活科学会の皆様にご挨拶申し上げます。前職は、東北にある山形大学に勤めており、縁あって歴史ある同志社女子大学における教育・研究に励む

機会をいただきました。これまで「食べ物」を取り巻く課題の解決のために、積極的に取り組むことができる人材の育成に携わってまいりました。本学においても、管理栄養士を含めた「食べ物と健康の関わり」に精通する人材の育成に携わることができ、大変うれしく思

つております。また、私自身も管理栄養士であり、同じ資格を有する次世代の若者を育成することに、大きな喜びを感じると共に、誇りさえ感じております。それゆえ、人の生活の根幹を支える食べ物的重要性について、さまざまな視点から学ぶことができよう、授業・実習、そして研究ま

での一貫した教育・研究を実践していきたいと考えております。そのため、日々、研鑽を積み、広い見識を持ち合わせた人材を世の中に輩出できるよう精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願

臨床病態学研究室
田中 雅彰

私は、優れた人材の育成を第一に、学部生や大学院生などの教育に取り組んできました。臨床病態学・解剖生理学・栄養科学は全ての生命科学の基礎を与える重要な学問です。学部生、大学院生、若手研究者には、このような学問に

対して、生体や食物の知識のみならず、その本質を深く理解させ、自ら学習課題を設定し、その課題解決に向かつて励むように導きたいと考えています。また、臨床病態学・解剖生理学・栄養科学を社会に役立つ生きた学問として身につけさせたいと考えています。一方では、私はこれまで、疲労研究

に取り組んできました。疲労は労働による作業効率の低下と定義され、生体のホメオスタシスの根幹をなす概念であるとともに、「痛み」や「発熱」と並ぶ三大バイオアラームの一つです。世界に先駆け

て疲労研究教育拠点の設立・運営、研究、および教育・人材育成に従事してきました。健康社会の実現に向けて、栄養科学と健康についての研究を推進し、真の健康

・福祉社会を実現に貢献したいと考えています。これらの実績を基盤として、一刻も早く、同志社女子大学に貢献できるよう、励みたく思います。何卒よろしくお願

『同志社女子大学生生活科学』第五十三巻・内容

(二〇二〇年発行)

学会では年一回誌『同志社女子大学生生活科学』を発行しています。
二〇一九年度は第五十三巻を発行しました。卒業生の方で購読ご希望の方は五百円(送料込み)をお振込みの上お申し込み下さい。折り返し会誌をお送りします。バックナンバーもごさいます。また、四十三巻から論文を本学のホームページ上で公開しています。なお、会員の方はどなたでもこの会誌に投稿することができます。投稿規定と原稿の書き方は生活科学会ホームページにてご確認ください。原稿締切りは毎年十月中旬です。

大塚 肇先生を偲んで.....村上敬衣子
馬杉一重先生を偲んで.....宮本 義信

〈原著論文〉

親準備性傾向が将来の虐待行為懸念におよぼす影響

——女子大学生の場合——.....諸井 克英・氏原 愛深

京都市山科区民の家庭ごみの実態と今後のごみ削減に向けた対応への検討.....齋藤 朱未・高橋 奈史

小学生のかつおだしと煮干しだしの風味に対する評価

——食育取り組み年数が異なる2校の比較——.....神田 知子・西川あや奈・富田 好美

水の硬度が牛肉の煮込みに及ぼす影響.....村上 裕子・丸山 智美・小切間美保

コレステロール添加食投与ラットの肝脂肪蓄積に及ぼす.....酒井真奈未・吉良ひとみ

焙煎度の異なるコーヒー豆抽出物の影響.....仲佐 輝子・泉谷 祐希・坂野 友香

塚本 万智・川上小百合・高田 智美

宮田 早絵・奥田 紫乃

エンターテインメントとしてのプロレス興行の興亡.....諸井 克英

——プロレス・リアル「4」——.....森田 潤司

数のつく食べ物 (3) 名前に数字の三がつく食べ物 (その1).....森田 潤司

数のつく食べ物 (3) 名前に数字の三がつく食べ物 (その2).....森田 潤司

数のつく食べ物 (3) 名前に数字の三がつく食べ物 (その3).....森田 潤司

数のつく食べ物 (4) 名前に数字の四がつく食べ物.....森田 潤司

第五十三回生活科学大会講演 (二〇一九年七月三日)

学生を媒介したフィールドワークの実践と地域連携型教育の意義.....天野 太郎

——富良野地域および東日本震災地域での事例——.....天野 太郎

2019年度生活科学会決算書

□経常会計 (2019年度より様式を変更しました)

Table with columns: 項目, 予算, 決算. Rows include 収入 (会費, 寄付, 利息, 雑収入, 研究会運営費, 見学会所要費) and 支出 (大会運営費, 研究会運営費, 見学会所要費, 備品費, 印刷費, 通信費, 交通費, 文具雑品費, アルバイト費, 雑費, 奨学金運営費振替).

□奨学金会計

Table with columns: 項目, 予算, 決算. Rows include 収入 (利息, 寄付) and 支出 (奨学金運営費, 奨学金).

『生活科学会通信』発送希望のお伺い

平素は同志社女子大学生生活科学会に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この『生活科学会通信』は、ご承知の通り、毎年6月に生活科学部(旧 家政学部)の全卒業生の皆様にお送りしております。しかし、近年の郵便料金の値上げや発送数の増加により、学会の財政状況が年々圧迫しております。そこで2021年度より、希望される方のみ、通信をお届けすることとなりましたのでお知らせします。

同封しました返信用はがきにて、今後の通信発送の要・不要をお知らせください。ただし、一度お知らせいただいた後でも、E-mailやお電話にていつでも変更を承ります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

生活科学会運営委員 (2020年度) (敬称略)

Table with columns: 教員, 卒業生, 院生, 在学学生, 事務局. Lists names of committee members and student categories.

研究室だより

服飾文化(平光) 研究室

服飾文化研究室は新たに11名のゼミ生が加わり新年度を迎えました。3回生はファッション産業の仕組みや流れを学び、4回生は就職活動と並行して、各々興味を持ったテーマで卒業論文に取り組みます。今年度はイレギュラーなことも多いと思いますが、みなさんが充実した一年を過ごせますよう、精一杯お手伝いさせていただきます。

(助手)

被服学(藤本) 研究室

新年度となり当研究室では4回生13名、3回生11名を迎えスタートしました。今年アニメのキャラクターや歴史上の人物をアイディアソースにした衣服の製作や介護服、ウエディングドレスの製作など様々な興味のある、皆熱心に卒業論に取り組んでいます。慣れない遠隔授業が続きますが、皆の製作活動が充実するよういつも以上にサポートしていきたいと思えます。

(助手)

家族福祉学(宮本) 研究室

今年度は、4年生7名、3年生4名で活動しています。目下、ゼミでは、施設・機関の見学・実習や

調査など、程よくアウトドアを取り入れた内容の授業が完全ストップの状態です。数少ないゼミ生は遠隔を通して何とか連携を保ちつつ、自分たちの持ち味を活かせる研究課題への取り組みは、授業の進行(規制の緩和)とともに一層活発になるでしょう。頑張るぞ!

(ゼミ生一同)

生命倫理学(小崎) 研究室

例年とは異なる環境に少し戸惑いながらも当たり前にあつた豊かさに気が付かされる日々が続いています。今年度も生命倫理学研究室には新しいゼミ生を迎え、それぞれが各テーマと真剣に向き合っています。学生の視点に驚かされることも多く、自らの学びも深まるばかりです。皆が落ち着いた環境で学べるように、陰ながらサポートできればと思います。

(助手)

都市空間(麻生) 研究室

都市空間研究室は3期生11名を迎え、計24名となりました。昨年度は岐阜県白川村(世界文化遺産)等へのフィールドワークを行いました。今年度はコロナで対面授業ができていませんが、新しい方法を活用してコミュニケーションを取り合い、学びを深めています。研究室での2年間で学生さん方にとって充実したものとなるよ

う、私もささやかながら努めてまいります。(助手)

社会心理学(諸井) 研究室

今春9名の燕さんたちが世間へと無事巣立ち。入れ替わりに11名の新・燕さんたちが「社会心理学」という巣に。13名の「卒業+就職活動」に奮闘中の燕さんたち。研究室事務助手さん1名も含め、あのコロナさんのために皆さん巣ごもり中。(諸井克英)

住生活学(奥田) 研究室

今年度は10名の3回生を迎え、計20名のゼミ生と共に新学期をスタートしました。4回生は昨年度の秋頃から卒業論文のテーマを決め、それぞれの研究に取り組みとしていきます。3回生は初回の授業日にOffice365のTeamsを使用して顔合わせをしました。皆様が充実した時間を過ごせるよう精一杯サポートしていきたいと思えます。(助手)

環境計画学(齋藤) 研究室

当ゼミは5年目を迎え、3年生7名が加わり、4年生13名、計20名となりました。新学期は難しい状況の中スタートし、ゼミ生にとっては就活と卒業論の両立に大変な日々を過ごしているかと思えますが、皆が心身ともに健康に乗り切れますよう応援しております。

た、私事ですが2年前に卒業したこのゼミに、今春助手として戻ってこれたことを嬉しく思っております。(助手)

住居計画(塚田) 研究室

本研究室は今年度より初めての学生を迎え、3回生11名のゼミ生と共にスタートしました。新学期早々、異例な状況の下での始まりとなりましたが、これからゼミ生の皆様は、塚田先生の温かなご指導の下、それぞれの研究・課題や就職活動に取り組みれます。皆様が充実した一年を過ごせるようにお手伝いさせていただきます。(助手)

運動生理学(米田) 研究室

今年度、運動生理学研究室は11名の新しいゼミ生を迎えスタートしました。ゼミ生にとっては、卒業研究に就職活動等で多忙の一年になると思いますが、一緒に過ごせる時間を大切に、お互い切磋琢磨しながらいろんな面で成長していったほしいと思います。来春、彼女たちが充実した気持ちで巣立っていけるように微力ながら応援していきたいと思えます。(助手)

調理科学(真部) 研究室

今年度は6人のゼミ生を迎えました。実験は例年より遅いスター

トとなりますが、テーマごとに課題に取り組んでいます。事前に様々な情報を調べておくことで、実験への理解がより深まることを期待しています。思い通りにならないことも多くありますが、これを超えることで自身の成長につなげていってほしいと思えます。(助手)

臨床栄養管理学(小松) 研究室

今年度は、卒業生11名、大学院生8名、教授・助手の計21名となりました。大人数ではありますが、小松先生の温かな御指導の下、力を併せて研究に励むこととなります。日々ご多忙な小松先生や、学業に研究に就活にと忙しいゼミ生を精一杯サポートしていきたいと思えます。(助手)

食品物性学(山本) 研究室

今年度は7名の学生が配属されました。春休み期間に、各自実験操作に慣れるための予備実験を終え、最近では、本研究室の主テーマである澱粉糊化について勉強しています。今後、グループごとに研究テーマを決め、実験計画を立てながら研究を進めていきます。助手2年目として、ゼミ生がスムーズに研究できるよう、精一杯サポートしていきたいと思えます。(助手)

公衆栄養学(今井) 研究室

い 今まで通り
ま 前向きに
い 今井ゼミメンバー
ぜ 全員の方で
み みんなを食で笑顔に!
だ 団結しよう
よ よいどん

(ゼミ生一同)

公衆衛生学(吉田) 研究室

今年度の公衆衛生学研究室は11名のゼミ生を迎えました。しかし新型コロナウイルスの影響により、ゼミでの論文紹介の発表を対面で行うことが出来ず、マネージャーの試みを考えている真っ最中です。先日はゼミ生とWeb面談を行いました。トラブルもなく無事完了し、少し感動してしまいました。一刻も早くこの状況が収束し、良くなる事を願って。

(助手)

栄養化学(鈴木) 研究室

本研究室は、今年度から新たなスタートを切りました。来年度から配属される学生の事を待ち侘びながら、充実した研究活動ができる環境作りを進めていきたいと考えています。

(鈴木拓史)

今年から栄養化学研究員の助手を勤めさせていただくことになりました。研究や学生実験が円滑に行われるよう努めて参る所存でございます。

ざいます。よろしくお願い致します。

(助手)

食品加工学(西村) 研究室

今年度は新たに食物8名、食管2名、大学院生1名を迎えました。ちょうどゼミ生活が始まるうとしたところで、コロナウイルスによる入校禁止措置が取られ、今後ゼミ生がどのように最終年度を過ごすのか、いろいろと不安なことも多いですが、西村先生のご指導の下、本研究室で学んだことが役に立ち、社会に羽ばたいていってもらえたらうれしいなと思います。

(助手)

食品機能学(杉浦) 研究室

今年度、食品機能学研究室は11名のゼミ生を迎えました。杉浦先生の厚いご指導の下、与えられた課題に各々積極的に取り組んでいます。同じゼミに配属された“縁”を大切にし、互いに励まし合いながら充実した一年を過ごして欲しいと思います。一年後に胸を張って社会人としての第一歩を踏み出せるよう、微力ながら精一杯サポートしていきたいと思ひます。

(助手)

食品微生物学(川崎) 研究室

今年度、食品微生物学研究室は7名のゼミ生を迎えスタートしました。ゼミ生は2グループに分か

れ、マネージャーを通じた川崎先生の御指導の下、各々勉強や論文検索などに取り組んでいるようです。

学生生活最後のこの一年で、彼女が多くのことを吸収し、さらに大きく成長できるように、微力ながら精一杯サポートしていきたいと思ひます。

(助手)

栄養生理学(片井) 研究室

コロナによる未知の1年が始まりました。新たなものを生み出すために、片井先生と共に挑もうと思ひます。限られた時間やツールの中で充実した濃い授業時間になるように、全力でサポートしていきたいと思ひます。今年度もゼミ室は静かに休憩中ですが、在学生や卒業生がいつでも来れるように、研究室の扉は開けて待っています。

(助手)

食品栄養学(森) 研究室

今年度は管理栄養士専攻から9名、食物科学専攻から1名を迎え、研究室二年目が始まりました。自分の意見をしっかりと持った個性ある彼女たちがこの一年どのようなことを学び、成長していくのを見守っていききたいです。年度始まりから活動が制限される厳しい状況にありますが、彼女たちにとって充実した一年になるよう試行錯誤し、サポートしていきます。

(助手)

調理学(村上) 研究室

今年度、調理学研究室では新たに11名のゼミ生を迎え、早速研究テーマも決まりました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、例年のように実験が開始できていませんが、ゼミ生はそれぞれのテーマに沿った課題に取り組んでいます。

ゼミ生をサポートできるように、村上先生のご指導の下、頑張ってください。

(助手)

実践栄養学(小切間) 研究室

今年度のゼミは、ライフステージ別に分かれて食生活を通じた健康について研究をしています。コロナの影響により先が見えない不安がありますが、ゼミ生同士で力を合わせて頑張りたいと思ひます。学生思いの小切間先生、困った時に手を差し伸べてくれる植村さん、熱心な共同研究先の先生方にご指導頂きながら、充実した1年をしたいと思ひます。

(ゼミ生一同)

生化学(倉橋) 研究室

今年度は食管2名のゼミ生を迎えました。今後の研究に向けた腕慣らしの予備実験や国試の勉強を始めた矢先に、COVID-19の影響でゼミ生は学内活動を一旦お休みしています。それでも、先生とオ

ンラインでコミュニケーションを取りつつ、少しずつ活動を進めております。例年と異なるゼミ活動になりそうですが、私も精一杯サポートしたいと思います。

今年度は給食経営管理理学研究室に十一名のゼミ生が所属することになりました。卒業研究、就職活動、国家試験と忙しいですが、実りある一年を過ごして欲しいと思ひます。何かと暗い話題の多い今日この頃ですが、最後は全員笑顔で卒業出来るよう、精一杯お手伝いさせて頂きます。

(助手)

給食経営管理理学(神田) 研究室

今年度より、伊藤先生の後任として、採用されました。新任ということもあり、ゼミ生もいませんが、教室のセッティングや講義の用意などで、あわたたしい日々を送っています。

(助手)

臨床病態学(田中) 研究室

今年度より、伊藤先生の後任として、採用されました。新任ということもあり、ゼミ生もいませんが、教室のセッティングや講義の用意などで、あわたたしい日々を送っています。

(田中雅彰)

2020年度生活科学会総会

□2019年度事業報告

| 実施日 | 事業内容 |
|-----------|---|
| 7月3日(水) | 第53回大会を開催。 総会后、本学現代社会学部社会システム学科教授 天野太郎氏を招き、「学生を媒介したフィールド・ワークの実践と地域連携型教育の意義-富良野地域および東日本震災地域での事例-」という演題で講演会を行いました。 |
| 10月19日(土) | 見学会として、俵屋吉富 京菓子資料館にて京菓子文化について学び、和菓子作りを体験しました。 |
| 11月2日(土) | 研究会として、京都ブライトンホテルにてテーブルマナー(西洋料理)を学びました。 |

- ・奨学金を学部生13名に支給しました。
- ・『生活科学会通信』No.60を6月に発行しました。
- ・会誌『同志社女子大学生生活科学』53巻を2020年2月に発行しました。

□2019年度決算報告

別紙参照

□2020年度事業計画案

広がるコロナウイルス感染により我々を取り巻く環境が急激に悪化しており、4月20日にはついに春学期の講義をすべて遠隔授業で行うことが決定しました。そこで、これらの環境の変化を鑑み、例年通りの事業開催は難しいと考えております。特に人が集まる形での事業は、その形態を変える必要性に迫れているものと判断致します。そこで、以下のごとく事業計画を提案します。

1. 大会(総会)の開催について

当初は7月8日(水)開催予定として準備を進めて参りました。この大会は、会則4項(1)「毎年1回大会の開催」に開催すべきものとして謳われています。なおかつ7項にて、「会計報告は年1回大会において行い承認を得る。」とあることから、何らかの形で行う必要があると考えます。しかし、人を一カ所に集める従来型の大会を開催することは困難です。会則では開催形式についてその様態を定めた項目はありませんので、本年度は、通信の発送時に総会資料を同封し、意見のある方には7月7日(火)までにご連絡をいただくかたちで総会を開催したいと思います。意見のない方は、承認いただいたものと判断したく存じます。

その場合には、7月中旬以降に総会議事承認の結果を生活科学会ホームページに掲載し、いただいたご意見があれば、それに対する返答も合わせて掲載するものとします。

在学生に関しては、総会資料を郵送またはメールにて送付します。

2. 大会講演会の開催について

中止とします。

3. 研究会・見学会について

どちらも中止とします。

4. 大会講演会・研究会・見学会の予算の取り扱い

上記2および3が認められた場合、大会講演会・研究会・見学会の中止に伴い、この3つの事業で本来執行するはずであった予算が未執行となりますので、今年度限りの奨学金として転用させていただきたく存じます。

5. 奨学金について

例年、9月に募集を行い、選考を経て11月下旬に交付しています。今年度の募集および交付方法は、秋の状況を見て判断したいと思います。秋学期も対面授業が開始されていない場合は、郵送による書類のやり取り、銀行振り込みによる交付も視野に入れます。

6. 刊行物について

『生活科学会通信』No.61(6月発行)

『同志社女子大学生生活科学』第54巻(2021年2月発行予定)

□2020年度予算案

別紙参照

2020年度事業計画案および予算案につきましてご審議いただき、異議のある方は7月7日(火)までに生活科学会事務局までご連絡ください。郵送もしくはメール連絡のみとさせていただきます。

連絡先: 同志社女子大学生生活科学会

〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入

(E-mail) hlgakkai@dwc.doshisha.ac.jp

生活科学会ホームページ開設のお知らせ

この度、生活科学会のホームページを開設しました。今後は『生活科学会通信』に加え、ホームページでも生活科学会の最新情報をお届けしますので、どうぞご確認ください。下記アドレスを直接ご入力いただくか、下のQRコードからでもご覧いただけます。

<http://www.hlgakkaidwcla.com/>

